

地域会・支部による「月次決算体制の構築支援」 実践勉強会開催レポート

TKC関東信越会

埼玉東支部・埼玉中央支部

とき…令和7年10月9日(木)
ところ…さいたまSCGサービスセンター

TKC関東信越会埼玉東支部と埼玉中央支部は合同で「事務所の未来設計塾」を企画している。全会員向けとして、大宮、熊谷、越谷会場の3カ所と入会10年未満のグループに分け、四つの勉強会がスタートした。

第1回として10月9日に、全会員向けの大宮会場と、入会10年未満のグループが同時並行で開催された。全会員向けは富澤雅治埼玉東支部長、橋本真一会員が講師を務め、入会10年未満は朝倉靖会員、小林智会員が講師を務めた。TKC全国会運動方針を踏まえて勉強会開催の目的を解説した。

動画「税理士の未来」を視聴した後、テキスト『TKC会計人 業務の未来設計』の重点ポイントについて講師による解説があり、あわせて実践事例が紹介された。



埼玉東支部・埼玉中央支部(10月9日)

事務所の課題を共有しながら 解決策をディスカッション

続いて、TKC全国会運動方針第1フェーズの三つの行動指針の推進をテーマに事務所の課題を共有しながら解決策について議論した。議論を踏まえ、参加者は「目標設定シート」にそれぞれ目標数値と行動計画を記入した。今後の勉強会で進捗を確認していく予定である。

参加者からは、「悩みを共有することで、自分の事務所の問題点も見えてきて良かった。次回も参加したい」「目標を声に出すことで身が引き締まった」というコメントがあった。なお、年内は各グループで残り1回開催し、勉強会は来年も継続する予定である。

(さいたまSCGサービスセンター長 中原洋一)

TKC南近畿会 和歌山支部

とき…令和7年11月6日(木)
ところ…和歌山SCGサービスセンター

「近未来の会計事務所のあるべき姿」をテーマに開催

TKC南近畿会和歌山支部では、10月より「月次決算体制の構築支援」実践勉強会を開始し、今回で2回目を開催した。

今回は会員13名が参加し「近未来の会計事務所のあるべき姿」をテーマに、下津正也会員が進行を務めた。前半はテキスト『TKC会計人 業務の未来設計』第1部第2章から第4章までの範囲を確認し、ディスカッションを行い、後半はグループに分かれて「実践ワークシート集」の「事務所も関与先も幸せになる収益構造を実現しよう!」、「リーダーシップを発揮して職員のモチベーションを高めよう!」の二つのテーマでワークとディスカッションが行われた。



和歌山支部(11月6日)

参加者からは次のような意見があった。「どの業界も気が付けばデジタル化が進んでいく。会計事務所もAIの活用についていかなければならない。税理士業務の合理化が一層進んでいくと、保証、経営助言への取り組みがさらに重要となる」、「テキストに書かれているバランススコアカードが非常に良くまとまっていて分かりやすい。税理士の4大業務に取り組むためには、正しい会計帳簿が必要であ

り、そのためには初期指導、月次巡回監査、TKCシステムが肝となる」、「値決めは所長の仕事。業務日報、FMS、TMSを活用して、報酬と手間の乖離が大きいたところは勇気を出して値上げをしていきたい」

1回目の勉強会で配布された「TKC全国会運動方針第1フェーズ最重要目標進捗管理表」を作成し、職員とも目標を共有し、月2回、計画の進捗状況を確認している事務所も出てきている。勉強会は令和8年7月まで計7回の開催を予定している
(和歌山SCGサービスセンター長 横井昭紀)

TKC九州会

沖縄支部

とき…令和7年11月12日(水)
ところ…沖縄SCGサービスセンター

TKC九州会沖縄支部では、大城逸子会員をリーダーに若手からベテランの会員まで幅広い会員による勉強会「ハッピースマイルプロジェクト」を2カ月

に1回のペースで開催している。事例紹介とグループディスカッションを通じて、参加者同士が啓発し合いながら事務所の課題解決に向けた実践的な勉強会となっている。

課題解決の鍵はクラウド化と月次巡回監査体制の構築！

事務所の課題を①顧客サービス面、②収益・業務効率面、③スタッフ・組織面、④所内管理面——の四つの視点で整理し、議論の結果、共通して浮かび上がった結論は「クラウド化とシステム活用による月次巡回監査体制の構築が不可欠」ということだった。今後も巡回監査手法や業務効率化に向けて様々なテーマで開催していく予定である。

沖縄支部では、巡回監査担当者向けの勉強会も開催。「手入力ゼロへの挑戦」をテーマに2名の巡回監査担当者からシステム活用の事例とともに、経理経験者がいない関与先でもミスなく



沖縄支部 巡回監査担当者向け(11月7日)

処理できる設定方法や機能を紹介。その後、実践ワークシート集「3. FXクラウドシリーズ」を徹底活用し、TKC方式の自動化に取り組もう」を使ったグループディスカッションを実施。参加者からは「事例が聞けて良かった」「クラウド化が遅れていることに気付いた」などの声があった。

(沖縄SCGサービスセンター長 川上真裕美)